

平成25年10月25日

# 小田北だより 10月

尼崎市立小田北中学校 学校通信:文化発表会特集



## “行事の小田北” 本領発揮

合唱コンクール・総合文化発表会終わる



10月23・24日の合唱コンクール・総合文化発表会には、多くの保護者や地域の方々にご来校いただき、たくさんの心温まるご声援をいただきましたことに感謝申し上げます。特に、合唱コンクールは、各学年とも110名を超えるほどの来校でした。どのクラスも心を一つに練習に励んだ成果として大きな感動が体育館いっぱいに広がりました。僅差で予選通過した2クラスだけが24日に登場しましたが、甲乙つけがたいものでした。**3学年最優秀賞に輝いた3年2組**は、11月1日(金)、アル

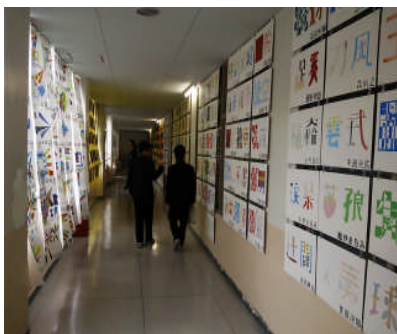
カイクホールで行われる中高合同音楽会に出場します。小田北中の代表として存分に力を発揮してくれることを願っています。**2学年は2年4組、1学年は1年1組**が最優秀賞となりました。(参考:優秀賞は、3年4組、2年1組、1年2組)

また、その他の舞台発表も中身が濃く、充実したものだったのではないのでしょうか。展示も耐震工事の中、美術・技術家庭の作品の多彩さ、理科・総合の時間での取り組み、保健委員会・特支学級等においても、皆で協力しよく考え、工夫が凝らされていました。茶華道部も一部屋分以外にも作品をさりげなく展示してくれました。舞台発表の最後では、吹奏楽が若手教員も入り60名超という大所帯の迫力ある演奏を聴かせてくれました。午後から最後まで鑑賞された濱田英世教育委員長も「3年劇、今風のテーマで演技も上手だし感動しました。吹奏楽部、迫力有りますね。」等と絶賛されていました。

この総合文化発表会では、生徒の皆さんが毎日学習してきたことやクラスでの取り組みの成果を発表し鑑賞することを通して多くのことを吸収し、学びとる大切な機会となりました。



早朝より合唱練習をしていたクラスもあり、歌声の満ちあふれる学舎となっていました。クラスの仲間と励まし助け合い、団結を強め協力する大切さを学んだ場でもありました。この感動の体験と学びを明日からの学校生活に活かしてほしいものです。以下、展示の一端を写真で紹介します。



南校舎3階美術室及びその前の廊下はちょっとした美術館の様相でした。全校生のたくさんの作品が掲示されていました。週1時間(1年は1.3時間)でこのような立派な作品が出来ることに驚きです。掲示方法にも感心…



2階廊下は、今年も3年作品：いのち輝くをテーマに実際に3年生が表現し、形取った人影のちぎり絵 書家の言葉が胸にしみました



おい立ちの記：小さい頃の写真に！？コメントも興味深い



木工・金工・電子などいかにも技術科とわかる作品群



被服室に満載の家庭科の多彩な作品



3階に現れた癒しの空間：茶華道部作品



夏休みの宿題を中心とした理科の作品



保健委員会のキャンペーン掲示：大丈夫ですか？

その他、総合学習として1年：宿泊学習新聞。2年トライやる新聞が各学年廊下に掲示されていました。全員の作品を見る時間はありませんでしたが、それぞれ限られた時間で工夫されて書いていました。返却された作品は、自らの成長と証として保存し、何年か後に見ると中学時代を思い出し、懐かしさと何か感じるものがあるはず。世界に一つだけの君達の作品だ！